

生徒の主体的な活動を支援する修明図書館

1 学校の概要

- (1) 所在地 福島県東白川郡棚倉町大字棚倉字東中居 63
- (2) 学級数・生徒数 文理科・生産流通科・食品科学科・情報ビジネス科
12クラス・331名(令和5年1月22日現在)
- (3) 学校図書館の蔵書数 18,174冊(令和4年4月1日現在)

2 取組内容

図書委員の生徒に限らず、本校の生徒が自分の能力を発揮し、主体的に活動できる場を提供することを目的として、次の活動を行った。

(1) 図書委員会の生徒による企画展示

各クラス持ち回りの企画展示として、「図書委員おすすめコーナー」を設置している。興味・関心を持っていることや、学校行事や季節のイベント等にちなんだテーマを各自が設定し、自作のポスターと共に図書館内にある本を展示している。



(2) 「推し本POP」の募集

年間を通じて「推し本」の募集を行い、そのPOPとともに本を紹介している。絵を描くことが得意な生徒にとっては、自分の得意分野を発揮することができる機会にもなっている。



推し本紹介BOX

生徒が作成したPOP

(3) 学級文庫の設置

1学年の各クラスに学級文庫を設置した。本は、各クラスの図書委員の生徒と学校司書が2～3カ月に一度選書を行っている。「朝の読書」の時間に積極的に利用してもらえるよう呼びかけている。



左下が図書館提供の学級文庫

(4) 文化祭での「しおり作成ワークショップ」の開催

今年度は3年に一度の公開文化祭があり、図書委員会の企画として「しおり作りワークショップ」を開催した。図書委員がワークショップの受付、作成の仕方のレクチャーなどを行った。事前に準備したしおり用紙へシールやマスキングテープを自由に貼ってもらい、ラミネート加工した。文化祭当日は、本校生のほか、親子連れや本校の卒業生など、たくさんの来場者が思い思いのしおりを作成していた。



ワークショップ会場



生徒が作成したしおり



しおり作成の様子

(5) 棚倉町地域おこし協力隊員との連携による「図書館ボランティア養成講座」の実施

令和2年度より、棚倉町の地域おこし協力隊員と連携し、図書委員の生徒を対象とした読み聞かせ講習会、棚倉町内の幼稚園児を対象とした読み聞かせ会を行ってきた。

今年度は、棚倉町地域おこし協力隊員・棚倉町立図書館と連携して、図書館ボランティア養成講座を実施した。この講座には、図書委員に限らず、地域のボランティア活動に興味がある生徒、将来司書を目指している生徒などが意欲的に取り組んでいる。

このような取組を通して、地域との連携をさらに深めていきたいと考えている。



図書館の業務について学ぶ

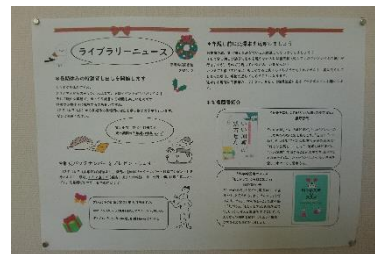


読み聞かせの本の選書

3 広報活動

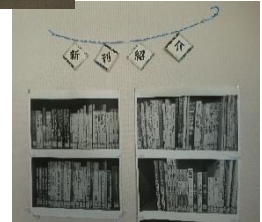
(1) ライブラリーニュースの発行

新着図書案内や毎月の企画展示の紹介を掲載し、毎月1回発行している。長期休業中の貸出案内や、新着図書の紹介など、生徒が図書館を身近に感じ、利用しやすくなるような紙面作りを意識して作成している。



(2) 図書館前の掲示

図書館前の掲示板に本の背表紙を撮影した「新刊案内」を掲示し、新たに入った本を紹介している。



(3) 図書館報の発行

図書委員会企画、教職員からの寄稿、図書館に関する各種統計などを掲載し、年1回発行している。「図書委員の<この本が読みたい!>」、「心に残った<この一行>」など、年替わりの企画ページも設け、読み物としても楽しむことができるように心がけて作成している。



4 今後の展望

今年度行った活動を継続、発展させるために、図書委員会の生徒たちによる自主的な活動をさらに促すとともに、学校全体として読書への関心が高まるような取り組みを充実させていきたい。

校内における活動だけでなく、校外の機関との連携をさらに深め、地域で本校生徒が活動できる場を提供し、地域に貢献できるような生徒を育てていきたい。